

今週一枚： 火砕流の地に咲き誇るポピー 2020年5月13日 長崎県島原市・火張山（ひばるやま）花公園



【この画面の後ろには砂防ダムが設けられ再噴火に備える。普賢岳とダムの間に出来た盆地がお花畑となった】

「しまばら火張山・花公園に 500 万本のポピーが見ごろの時期を迎えた」

と、長崎新聞（地方誌）に記事が掲載されていた。

ポピーは私が大好きな花、これが咲き誇る風景が身近にあるなんて思いもよらなかった。

長崎市の自宅から車で約 2 時間。

そこには初夏の陽光のなか、可憐な花びらをひらめかせ一面に広がるポピーの花、花、花……想像していた以上の美しさに息をのみ、その花の絨毯のなかに身を埋めた。

見上げれば普賢岳、そして平成 2 年（1990 年）11 月からの噴火で造形した平成新山。30 年前の出来事をお花畑が全部飲み込み、静寂を深く引き込む。遠く、うぐいすの声が澄み渡る。

【備考】

この地区は普賢岳噴火災害で壊滅状態となったところ

その跡地に島原市民らの手が入られ、たくさんの花が咲き誇るようになった。

春は桜と菜の花、初夏はピー、秋にはコスモスやヒマワリの花が被災地を彩る。